

# 地域観光統計の整備・公表の状況と課題

## Current situation of regional tourism statistics and their challenges

岡本 直之\*・小笠原 悠\*・鈴木 祥平\*\*・日原 勝也\*

Naoyuki Okamoto

Yu Ogasawara

Shohei Suzuki

Katsuya Hihara

### 摘要

効率的で確実性のある観光振興政策を実施するためにはオープンデータである観光統計の活用が不可欠である。現在は観光庁が取り纏め公表している観光統計では都道府県を超えた市町村間での比較を行うことはできない。観光振興計画は市町村単位で作成され、振興計画の目標設定や現状分析で利用されるデータも市町村単位のものを利用されるのが一般的であることから、市町村単位での分析を行うこと、そのためのデータを整備することは重要である。本研究では各都道府県や市町村が公表する観光統計を参照し、整備されているデータとデータ間の比較可能性について整理を行った。結果として都道府県を超えた市町村間での単純比較はできないことが明らかとなった。整備が進んでいない要因は都道府県と市町村で異なることが考えられることから、反対にそれぞれの立場を活かした異なるデータの整備を行うことが重要であると考えられる。

## I. 背景

### 1.1 観光統計整備の経緯

近年、国や自治体は観光振興に取り組んでいる。一般的に政策を構築する過程で統計情報は不可欠であり、それは観光振興政策でも同様である(濱田, 2011)。神山(2013)は効率的で確実性のある観光振興政策を実施するには「明示的・定量的なデータ」を継続的に得る必要があり、観光統計の整備が求められていると指摘している。実際に国土交通省は2005年に観光統計の整備に関する検討懇談会を設置して観光統計の整備に本格的に取り組むこととなった。その後、2006年に観光立国推進基本法が成立し、観光統計の整備に必要な施策を行うことが法律で義務付けられたのである。

国が実施または取り纏めるようになった観光統計のうち、観光客数・宿泊客数を把握するものとして表1に示した宿泊旅行統計調査、共通基準による観光入込客統計が挙げられる。宿泊旅行統計調査は宿泊旅行の実態を全国規模で把握するために実施され、都道府県別の延べ・実宿泊者数、外国人延べ・実宿泊者数、定員・客室稼働率等が調査事項となっている。また、共通基準による観光入込客統計は、各都道府県の延べ・実観光入込客数、外国人実観光入込客数、観光消費額

\*首都大学東京大学院都市環境科学研究科観光科学域  
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 (9号館)

e-mail hihara@tmu.ac.jp

\*\*専修大学経営学部 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1 (9号館)

\*\*\* 観光統計の整備の実態等につき、有益なご指摘を頂戴した清水哲夫教授に感謝します。

単価、観光消費額等を把握するための調査である。

表1 国が関わる観光・宿泊客数統計

	宿泊旅行統計調査	共通基準による観光入込客統計
実施主体	観光庁	都道府県(観光庁が策定した基準に基づく)
調査項目	延べ・実宿泊者数 外国人延べ・実宿泊者数 定員・客室稼働率など	延べ・実観光入込客数 外国人実観光入込客数 観光消費額・消費額単価など
調査対象	ホテル、旅館、民宿宿所、会社・団体の宿泊所など 従業者数10人以上:全数調査 従業者数5~9人:1/3を無作為に抽出、サンプル調査 従業者数0~4人:1/9を無作為に抽出、サンプル調査	以下の基準を満たす観光地点等 ①非日常利用が多い ②観光入込客数が適切に把握できる地点である ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、 若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上である
調査開始	平成22年	平成22年

長年日本の観光統計は、様々な問題点が指摘されてきた。観光統計の整備に関する検討懇談会で取り纏められた「我が国の観光統計の整備に関する調査報告書」では、日本の観光統計は「官民の関係主体が様々な目的で調査を行っていることや包括的な統計がないこと、断片的で統一的な基準がないこと、さらに比較が不可能であること」が指摘されている。それまで各都道府県が公表していた観光入込客統計はそれぞれ独自の基準で調査・集計を行っており、各都道府県間でのデータを比較することができなかった。宿泊旅行統計調査と共通基準による観光入込客統計では、設定された基準に沿って調査が行われており、各都道府県間でのデータを比較することができるようになっている。

### 1.2 観光統計を用いて観光政策について考察した研究

1.1 で述べた二つの観光統計が整備されるまで各デ

ータの比較が不可能であったため、観光統計のデータを使用して定量的な分析を行い、観光振興政策について考察する研究は進んでいない。実施した数少ない研究でも、「データの制約」が指摘されている。

味水（2006）や鎌田・山内（2006）は観光需要に影響を及ぼす要因について各都道府県の観光入込客数を用いて定量的なモデルにより分析しているが、使用するデータは統一された基準に沿って調査・集計されたものではないため「分析手法に対する一つの提案」に留まっている。また、日比野他（2009）は全国の観光地の20年間における観光入込客数の変化を横断的に比較しているが、同様のデータの制約により入込客数そのものを比較するのではなく増減のパターンで比較を行っている。上記の研究ではオープンデータを用いることで影響を与えていると考えられる要因の効果を時系列で見ること、地域間の比較を行うこと可能であると指摘しており、宿泊旅行統計調査・共通基準による観光入込客統計を整備したのは観光振興政策を推進していく上で大きな成果であると言える。

### 1.3 市町村別観光データの必要性

現在は都道府県単位での宿泊客数、観光入込客数等が比較可能となったことが明らかである。しかし、この二つの調査からは市町村単位や観光地点単位での観光客数を把握することができない。宿泊旅行統計調査は一部限られた市町村のみ各月の宿泊者数や稼働率を公表しており、共通基準による観光入込客統計は市町村単位でのデータを公表していない。市町村や観光地点単位での観光客数データを取得したい場合は、各都道府県や市町村が公表している観光統計資料を参照しなければならない。観光統計の活用領域として、塩谷・朝日（2009）は①観光産業の重要度の計測と周知、②観光振興の目標設定・評価（時系列データ、地域間比較など）、③観光施策・公的プロジェクトでの活用、④民間観光事業者のマーケティングデータとしての活用を挙げている。特に②や③を実施する上では国や都道府県単位でのデータだけでなく、「市町村単位」でのデータの取得も重要である。というのも、山田（2014）は市町村単位での分析を行う重要性を指摘し、その理由として観光振興計画は市町村単位で作成され、振興計画の目標設定や現状分析で利用されるデータも市町村単位のものを利用されるのが一般的であることを挙げている。では、市町村単位やそれよりも狭い観光地点単位での分析を行う上で必要となる観光客数・宿泊客数は、各都道府県や市町村の観光統計を参照すれば、

把握することができるのだろうか。また、取得できるデータは都道府県を超えた他の市町村・観光地点のデータと比較することができるのだろうか。

各都道府県が公表する観光統計の内容を整理した文献として社団法人日本観光協会（2009）が挙げられるが、観光入込客数と消費額のみに着目している。宮川（2009）は日本人の宿泊旅行消費額および訪日外国人旅行消費額の合計が国内の全旅行消費額の70%を上回る点から考慮すると、宿泊者数の情報は観光の「規模」を把握する上で最も重要なものであると指摘している。また、社団法人日本観光協会（2009）が整理した時点では共通基準による観光入込客統計は整備されている最中であったことから、現在の観光統計の内容と大きく変わっている可能性があると考えられる。また、市町村が公表する観光統計を整理した研究は未知である。そこで、本研究では各都道府県と市町村が公表している観光統計の「観光入込客数・宿泊客数・観光消費額」に着目し、各データの整備状況と比較可能性についてまとめる。

## II. 都道府県が公表する観光統計の整備状況

### 2.1 データの公表状況

本章では、都道府県が公表している観光統計資料を整理する。結果、徳島県を除く全ての都道府県が毎年観光統計資料や観光客数データの一覧表を公表していることが明らかになった。巻末付録の表2～6に各都道府県の観光統計において公表されているデータの整備項目を示している。全ての市町村別の「観光客数」を公表しているのは34道府県、一部の市町村の観光客数のみを掲載している場合を含めると35道府県である。また市町村の観光客数は市町村内の観光地点の客数の足し合わせであるが、全ての観光地点の観光客数を公表しているのは9県に留まり、一部の主要な観光地点のみ公表しているのは20県である。また、市町村別・観光地点別の「宿泊客数」の公表状況については、全ての市町村別の宿泊客数を公表している都道府県が18、一部の市町村の宿泊客数を公表している都道府県も含めると19道県であることが明らかとなった。

### 2.2 データの比較可能性

続いて、観光統計に必要とされる「比較可能性」という観点から、各都道府県の観光統計で公表されているデータが比較可能であるかに焦点を当てて整理していく。各都道府県の観光統計資料を参照した結果、観光庁の共通基準に基づいて調査・集計を行い市町村別

の観光客数を掲載している都道府県は 14 道県に絞られることが明らかとなった。他の都府県は、調査・集計基準として日本観光振興協会の「全国観光統計基準」を採用していたり、独自の基準で調査・集計していたり、どのような基準で調査しているのかを観光統計資料に明記していなかったりする地域である。

異なる基準を採用している場合、どこに問題があるのだろうか。観光庁の共通基準では調査対象とする観光地点に対して基準を設けている。そのため、異なる基準を採用していると調査・集計方法や対象とする観光地点が変わることが指摘される。5 県が採用している日本観光振興協会の「全国観光統計基準」では、年間の入込客数が 5 万人以上、もしくは特定時期の入込客数が月間 5 千人以上の「学ぶ」「遊ぶ」「触れ合う」ことが可能な観光地点を対象としている。表 1 を参照すると、観光庁基準の②が日本観光振興協会の基準にはないため、観光地点内の駐車場を利用した車両台数をカウントして観光入込客数を推計する、または③の数値の基準が異なるため観光地点の選定数に違いが出ることにより、比較ができなくなる。また、独自基準を用いて調査・集計を行っている都道府県の基準を参照すると、静岡県や滋賀県は「1 千人以上」の観光地点を対象として集計している。上記の理由から、異なる基準に基づいて調査・集計を行ったデータを単純に比較することに問題があることが指摘できる。

また、同じ基準を採用している都道府県での市町村間の観光客数を比較する場合でも、単純に比較できない理由が二点挙げられる。一点目が、年間の観光入込客数を暦年で集計しているか、年度で集計しているかの違いである。二点目が、延べ人数と実人数のどちらの数値を公表しているかの違いである。延べ人数・実人数の両方を公表している山梨県を除くと、基本的には延べ観光入込客数を公表している。しかし、全て延べ人数であれば比較可能であるが、延べ人数なのか実人数なのかを明記していない都道府県も存在するため、単純に比較はできない。結果、比較可能である観光客数は、「9 道県」の観光統計に公表されている市町村であることが明らかとなった。

### 2.3 市町村別宿泊客数データの比較可能性

続いて、公表されている市町村別の宿泊客数の比較可能性について述べる。宿泊客数を公表していた 19 都道府県の資料を参照した結果、延べ人数・実人数の記載については 8 地域に記載があり、それら全ての地域が延べ人数を記載しており北海道と長崎県のみ実数も

記載していることが明らかとなった。しかし、集計対象となる宿泊施設の選定基準について記載しているのは 4 地域のみである。また、それらの 4 地域についても観光庁の宿泊旅行統計調査のように明確な推計方法の記載はなく、「独自の基準で推計を行った」と述べるに留まっている。よって、宿泊客数のデータについても、都道府県を超えた範囲での市町村間の比較は難しいことが明らかとなった。

## Ⅲ. 市町村が公表する観光統計の整備状況

### 3.1 対象とする市町村

続いて、市町村が公表している観光統計データを整理する。対象とする市町村は過去に日本温泉協会『温泉』で公表されていた「温泉地宿泊者数ベスト 100」のうち、各温泉地の所在地が確認できる 85 市町村である。温泉地は日本の宿泊観光の中心である一方、近年訪問客数は減少傾向にあると言われている。よって、各温泉地には「確実性のある」観光振興政策が求められており、観光統計の整備が必要であると言える。

### 3.2 データの公表状況と比較可能性

各市町村の公式ホームページから観光統計資料や観光客数データの一覧表を参照して整理し、データの整備状況を表 7、表 8、表 9 に示す。58 市町村が全体の観光客数を、43 市町村が市町村内の全てもしくは一部の主要な観光地点・イベントの観光客数を公表していることが明らかとなった。しかし、58 市町村のうち観光庁の共通基準に基づいて観光地点を選定し、集計を行っている市町村は 3 地域に留まる。

続いて、宿泊客数データの公表状況について整理する。前章で宿泊客数データを比較する際の問題点として指摘した推計方法については札幌市、別府市、鳥羽市の 3 市で記載があり、その他の宿泊者数を公表している 39 市町村には記載がない。また延べ人数か実人数かの記載については、10 市町村のみ記載がある。この結果から、宿泊客数データの比較についても難しいことが明らかになった。

## Ⅳ. まとめ

本研究では市町村別での観光客数・宿泊客数データについて都道府県・市町村が公表している観光統計資料を参照し、整理を行った。結果として、観光統計資料のデータを用いて市町村別で定量的に比較・分析を行うことは難しいことが明らかになった。

市町村別の比較可能な観光客数データの整備が進ん

でない理由として、都道府県の観光行政と市町村の観光行政の役割が異なることが挙げられる。都道府県の観光行政は国の観光政策と密接に連動していることが多いが、市町村の観光行政は地域の観光関連業者との接点が直接的にあり、関係者による短絡的で利己主義的な要請への対応に、即効性や実利性を求められることが多い(濱田, 2011)。よって市町村は長期的な視点で観光振興に必要とされる観光統計の整備より、イベントの実施や域外への宣伝活動などの短期的に効果の出る施策の実施を地域の観光関係者から求められているため、市町村の観光客数データの整備が進んでいない可能性がある。しかし観光統計は、イベントや観光宣伝などの施策の効果検証を行う役割も持つため(塩谷・朝日, 2009)、効果的な上記の施策の実施には観光統計の整備が必要である。よって、観光統計の整備が地域の観光関係者にとってもメリットのある施策であることを伝えることで、市町村の観光行政はデータ整備にも力を注いでいくことができると考えられる。

市町村が整備すべきデータとして、観光振興に力を入れている札幌市や松江市の観光統計で公表されている観光予算・決算額や、コンベンションの開催数など、観光客数の増減と関係するデータが挙げられる。上記のデータは都道府県が公表している観光統計資料には見られず、他の統計からも取得できない。また同じく他の統計では取得できない、宿泊客数の規模と関係の深い「宿泊施設収容人数」のデータについても11市町村で公表されており、整備を進めるべきである。

また、ほぼ全ての都道府県が観光庁の共通基準に基づいて観光客数調査を行っているにもかかわらず、異なる基準で調査・集計を行ったデータを公表している都道府県が多いことが明らかとなった。その理由として、都道府県の観光統計が必要とされる場面は施策・計画立案や合意形成の過程だけでなく「地域住民からの要請」も多いことが挙げられる(濱田, 2011)。観光庁の共通基準に基づいた集計結果を公表するより、地域独自の基準に基づいた集計結果を公表することで、地域住民の要求を満たす観光統計となる可能性が考えられる。例えば、観光庁の共通基準では表1に示しているように集計対象に基準があるため、集計対象から外れてしまう観光地点の客数を知りたい地域住民の要請に応えることができない。この場合、対象とする観光地点の数値基準を下げた集計結果を公表することが必要となる。

つまり、都道府県は観光庁の共通基準による集計結果と、独自基準による集計結果のどちらのデータも持

っており、そのうち独自基準の集計結果のみ公表している地域が多いことが指摘できる。どちらも重要なデータであることから、都道府県は両方のデータを観光統計資料において公表することで、比較可能なデータと地域の要求を満たすデータを取得できるようになると考えられる。

市町村別の比較可能な宿泊客数データの整備が進んでいない理由としては、宿泊客数の集計・調査方法に関する共通基準が存在しないことが挙げられる。国は共通基準で調査・集計を行う宿泊旅行統計調査を実施しているが、この調査は都道府県別の宿泊客数を把握するものである。しかし、10以上のサンプルが取得できた市町村のみ、宿泊客数データが公表されている。つまり、各市町村の宿泊業者の協力によって10以上のサンプルが集まれば、共通基準に基づいた市町村別の宿泊客数を公表することができると考えられる。その協力を得るには、独自で宿泊客数の調査を行っている都道府県や市町村の協力が必要である。国が都道府県・市町村と協力し、各市町村の宿泊業者に調査票に応えるよう要請してもらうことで、比較可能な市町村別の宿泊客数データが取得可能になると考えられる。

#### 参考文献

- 鎌田裕美・山内弘隆 2006. 観光需要に影響を及ぼす要因について－「魅力度」計測への試み－. 国際交通安全学会誌. Vol.31No.3. pp6-14
- 神山裕之 2013. 観光統計の整備について. 観光統計 42 号. pp1-8. 日本統計研究所
- 塩谷英生・朝日幸代 2009. 観光統計データの種類と活用 宿泊旅行統計を利用した分析. 産業連関. Vol.17No.1.2. pp16-29
- 濱田泰 2011. 地方自治体における観光統計の整備状況と活用の可能性. 東亜経済研究. 第 69 巻第 2 号. pp379-395
- 日比野直彦・早川伸二・森地茂・金兌奎 2009. 観光地の特性と入込客数の時系列変化に関する基礎的研究. 運輸政策研究. Vol11No.4. pp30-36
- 味水佑毅 2006. 観光統計の整備における「活用の視点」の重要性. 国際交通安全学会誌. Vol.31No.3. p55-65
- 宮川幸三 2009. 我が国の観光統計をめぐる現状と課題 地域観光統計体系の整備に向けて. 産業連関. Vol.17No.1.2. pp3-15
- 山田雄一 2014. 市場縮小期における持続的な観光振興施策に関する考察. 筑波大学提出博士学位論文
- 社団法人日本観光振興協会 2009. 2009-2010 年度版数字でみる観光. 偕成社. P3-4
- 観光庁・各都道府県・各市町村 観光統計資料

付録

表 2 都道府県観光統計公表データ整備状況①

都道府県	暦年 年度	調査・統計の名称	調査基準	市町村別	観光入込客数			
				実数/延数	観光地点	市町村	地域	都道府県
北海道	年度	北海道観光入込客数調査報告書	観光庁共通基準	延数	○	○	○	○
青森県	暦年	青森県観光入込客統計	観光庁共通基準	延数	○	○	○	○
岩手県	暦年	岩手県観光統計概要	観光庁共通基準	延数		○	○	○
宮城県	暦年	観光統計概要	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数	一部	○	○	○
秋田県	暦年	秋田県観光統計	観光庁共通基準	延数	○	○		○
山形県	年度	山形県観光者数調査	記載なし	延数	一部	○	○	○
福島県	暦年	福島県観光客入込状況	観光庁共通基準	記載なし	○	○	○	○
茨城県	暦年	茨城の観光レクリエーション現況	観光庁共通基準	延数	一部	○	○	○
栃木県	暦年	栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果	日本観光振興協会全国観光統計基準	記載なし	一部	○		○
群馬県	暦年	群馬県観光客数・消費額調査(推定)結果	独自基準	記載なし	一部	○	○	○
埼玉県	暦年	観光入込客統計調査結果	観光庁共通基準	記載なし		○		○
千葉県	暦年	千葉県観光入込調査報告書	観光庁共通基準	延数	一部	○	○	○
東京都	暦年	東京都観光客数等実態調査	観光庁共通基準					○
神奈川県	暦年	神奈川県入込観光客調査報告書	独自基準	延数	一部	○	○	○
新潟県	暦年	新潟県観光入込客統計	観光庁共通基準	記載なし	一部	○	○	○
富山県	暦年	富山県観光客入込数(推計)	独自基準	延数	一部	○		○
石川県	暦年	統計からみた石川県の観光	観光庁共通基準(消費額のみ)		一部		○	○
福井県	暦年	観光客入込数	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数	一部	○		○
山梨県	暦年	山梨県観光入込客統計調査報告書	観光庁共通基準	実/延数		○	○	○
長野県	暦年	観光地利用者統計調査結果	記載なし	延数	○	○	○	○
岐阜県	暦年	岐阜県観光入込客統計調査	観光庁共通基準	延数	○	○	○	○
静岡県	年度	静岡県観光交流の動向	独自基準	延数	一部	○	○	○
愛知県	暦年	愛知県観光レクリエーション利用者統計	観光庁共通基準	延数	○	○	○	○
三重県	暦年	観光レクリエーション入込客数推計	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数		○	○	○
滋賀県	暦年	滋賀県観光入込客統計調査書	独自基準	延数		○	○	○
京都府	暦年	京都府観光入込客調査報告書	記載なし	記載なし		○	○	○
大阪府	暦年	観光統計調査	独自基準					
兵庫県	年度	兵庫県観光客動態調査報告書	独自基準	延数	一部	○	○	○
奈良県	暦年	奈良県観光客動態調査/宿泊統計調査報告書	観光庁共通基準				○	○
和歌山県	暦年	和歌山県観光客動態調査報告書	記載なし	記載なし	一部	○		○
鳥取県	暦年	観光客入込動態調査	記載なし		一部		○	○
島根県	暦年	島根県観光動態調査結果	観光庁+日本観光振興協会共通基準	延数	○	○	○	○
岡山県	暦年	岡山県観光客動態調査報告書	観光庁共通基準		一部			○
広島県	暦年	観光客数の動向	記載なし	延数		○	○	○
山口県	暦年	山口県の宿泊者及び観光客の動向	記載なし	記載なし	○	○	○	○
徳島県								
香川県	暦年	香川県観光客動態調査報告	独自基準		一部			○
愛媛県	暦年	観光客数とその消費額	記載なし		一部		○	○
高知県	暦年	県外観光客入込・動態調査	記載なし		一部			
福岡県	暦年	福岡県観光入込客推計調査	独自基準	記載なし	○	○	○	○
佐賀県	暦年	佐賀県観光客動態調査	観光庁共通基準	記載なし		○	○	○
長崎県	暦年	長崎県観光統計	記載なし	延数		○	○	○
熊本県	暦年	熊本県観光統計表	記載なし	延数		一部	○	○
大分県	暦年	大分県観光統計調査	記載なし					
宮崎県	暦年	宮崎県観光入込客統計調査結果	観光庁共通基準	記載なし	一部	○	○	○
鹿児島県	暦年	鹿児島県の観光の動向	観光庁共通基準				○	○
沖縄県	年度	沖縄県入域観光客統計概況	記載なし					○

(注) 北海道は、公表は年度ごとであるが月別データまで公表しているため、2年度分のデータを用いて暦年での比較も可能(以下同じ)

表 3 都道府県観光統計公表データ整備状況②

都道府県	暦年 年度	調査基準	市町村別 実数/延数		月別(○)/四季別(△)入込客数			都道府県内/県外入込客数				観光地点分類別入込客数		
			市町村	延数	観光地点	市町村	地域	都道府県	観光地点	市町村	地域	都道府県	市町村	地域
北海道	年度	観光庁共通基準	延数	○	○	○								
青森県	暦年	観光庁共通基準	延数	一部△	○	○	○							
岩手県	暦年	観光庁共通基準	延数	○	○	○								
宮城県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数	一部△	○	○	○							
秋田県	暦年	観光庁共通基準	延数											
山形県	年度	記載なし	延数											
福島県	暦年	観光庁共通基準	記載なし	△	△	△								
茨城県	暦年	観光庁共通基準	延数											
栃木県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	記載なし	○	○	○								
群馬県	暦年	独自基準	記載なし	○	○	○								
埼玉県	暦年	観光庁共通基準	記載なし											
千葉県	暦年	観光庁共通基準	延数											
東京都	暦年	観光庁共通基準												
神奈川県	暦年	独自基準	延数											
新潟県	暦年	観光庁共通基準	記載なし	○	○	○								
富山県	暦年	独自基準	延数	△		△								
石川県	暦年	観光庁共通基準(消費額のみ)												
福井県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数	△	△	△								
山梨県	暦年	観光庁共通基準	実/延数				△							
長野県	暦年	記載なし	延数	○	○	○	○							
岐阜県	暦年	観光庁共通基準	延数	△	△	△	○							
静岡県	年度	独自基準	延数	○	○	○	○							
愛知県	暦年	観光庁共通基準	延数	○	○	○	○							
三重県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数	○	○	○	○							
滋賀県	暦年	独自基準	延数											
京都府	暦年	記載なし	記載なし											
大阪府	暦年	独自基準	延数											
兵庫県	年度	独自基準	延数	△	△	△								
奈良県	暦年	観光庁共通基準												
和歌山県	暦年	記載なし	記載なし	一部	○	○	○							
鳥取県	暦年	記載なし												
島根県	暦年	観光庁+日本観光振興協会共通基準	延数	○	○	○	○							
岡山県	暦年	観光庁共通基準												
広島県	暦年	記載なし	延数	○	○	○	○							
山口県	暦年	記載なし	記載なし	○	○	○	○							
徳島県														
香川県	暦年	独自基準												
愛媛県	暦年	記載なし												
高知県	暦年	記載なし												
福岡県	暦年	独自基準	記載なし	○	○	○	○							
佐賀県	暦年	観光庁共通基準	記載なし	○	○	○	○							
長崎県	暦年	記載なし	延数											
熊本県	暦年	記載なし	延数	一部	○	○	○							
大分県	暦年	記載なし												
宮崎県	暦年	観光庁共通基準	記載なし											
鹿児島県	暦年	観光庁共通基準												
沖縄県	年度	記載なし												

表 4 都道府県観光統計公表データ整備状況③

都道府県	暦年 年度	調査基準	市町村別 実数/延数		利用交通機関別入込客数			外国人観光入込客数			観光消費額			
			市町村	延数	市町村	地域	都道府県	市町村	地域	都道府県	観光地点	市町村	地域	都道府県
北海道	年度	観光庁共通基準	延数											
青森県	暦年	観光庁共通基準	延数											
岩手県	暦年	観光庁共通基準	延数											
宮城県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数											
秋田県	暦年	観光庁共通基準	延数											
山形県	年度	記載なし	延数											
福島県	暦年	観光庁共通基準	記載なし											
茨城県	暦年	観光庁共通基準	延数											
栃木県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	記載なし											
群馬県	暦年	独自基準	記載なし											
埼玉県	暦年	観光庁共通基準	記載なし											
千葉県	暦年	観光庁共通基準	延数											
東京都	暦年	観光庁共通基準												
神奈川県	暦年	独自基準	延数											
新潟県	暦年	観光庁共通基準	記載なし											
富山県	暦年	独自基準	延数											
石川県	暦年	観光庁共通基準(消費額のみ)												
福井県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数											
山梨県	暦年	観光庁共通基準	実/延数											
長野県	暦年	記載なし	延数											
岐阜県	暦年	観光庁共通基準	延数											
静岡県	年度	独自基準	延数											
愛知県	暦年	観光庁共通基準	延数											
三重県	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	延数											
滋賀県	暦年	独自基準	延数											
京都府	暦年	記載なし	記載なし											
大阪府	暦年	独自基準	延数											
兵庫県	年度	独自基準	延数											
奈良県	暦年	観光庁共通基準												
和歌山県	暦年	記載なし	記載なし											
鳥取県	暦年	記載なし												
島根県	暦年	観光庁+日本観光振興協会共通基準	延数											
岡山県	暦年	観光庁共通基準												
広島県	暦年	記載なし	延数	○	○	○	○							
山口県	暦年	記載なし	記載なし											
徳島県														
香川県	暦年	独自基準												
愛媛県	暦年	記載なし												
高知県	暦年	記載なし												
福岡県	暦年	独自基準	記載なし											
佐賀県	暦年	観光庁共通基準	記載なし	○	○	○	○							
長崎県	暦年	記載なし	延数											
熊本県	暦年	記載なし	延数											
大分県	暦年	記載なし												
宮崎県	暦年	観光庁共通基準	記載なし											
鹿児島県	暦年	観光庁共通基準												
沖縄県	年度	記載なし												

表 5 都道府県観光統計公表データ整備状況④

都道府県	暦年 年度	市町村別 実数/延数	宿泊客数				月別(○)/四季別(△)宿泊客数			
			観光地点	市町村	地域	都道府県	観光地点	市町村	地域	都道府県
北海道	年度	延数		○	○	○		○	○	○
青森県	暦年	延数				○				△
岩手県	暦年	延数				○				
宮城県	暦年	延数	一部	○	○	○			○	○
秋田県	暦年	延数				○				△
山形県	年度	延数								△
福島県	暦年	記載なし				○				
茨城県	暦年	延数				○				
栃木県	暦年	記載なし		○		○			○	○
群馬県	暦年	記載なし		○	○	○				
埼玉県	暦年	記載なし				○				
千葉県	暦年	延数		○	○	○			○	○
東京都	暦年	延数				○				
神奈川県	暦年	延数		○	○	○			○	○
新潟県	暦年	記載なし								
富山県	暦年	延数								
石川県	暦年	延数			○	○	一部			
福井県	暦年	延数				○				
山梨県	暦年	実/延数			○	○			△	△
長野県	暦年	延数	○	○	○	○				
岐阜県	暦年	延数		○	○	○			○	○
静岡県	年度	延数		○	○	○			○	○
愛知県	暦年	延数				○				
三重県	暦年	延数		○	○	○			○	○
滋賀県	暦年	延数		○	○	○			○	○
京都府	暦年	記載なし		○	○	○				
大阪府	暦年	延数		○	○	○				
兵庫県	年度	延数		○	○	○				
奈良県	暦年	延数				○				
和歌山県	暦年	記載なし	一部	○	○	○	一部	○		○
鳥取県	暦年	延数		○		○				○
島根県	暦年	延数		○		○				○
岡山県	暦年	延数				○				
広島県	暦年	延数		○	○	○				
山口県	暦年	記載なし				○				○
徳島県	暦年	延数								
香川県	暦年	延数				○				
愛媛県	暦年	延数								
高知県	暦年	延数								
福岡県	暦年	記載なし		○	○	○				
佐賀県	暦年	記載なし		○	○	○			○	○
長崎県	暦年	延数				○				
熊本県	暦年	延数	一部	○	○	○			一部	○
大分県	暦年	延数				○			一部	○
宮崎県	暦年	記載なし				○				△
鹿児島県	暦年	延数				○				○
沖縄県	年度	延数								

表 6 都道府県観光統計公表データ整備状況⑤

都道府県	暦年 年度	市町村別 実数/延数	利用宿泊施設別宿泊客数			外国人宿泊客数			月別(○)/四季別(△)外国人宿泊客数			
			市町村	地域	都道府県	観光地点	市町村	地域	都道府県	市町村	地域	都道府県
北海道	年度	延数					○	○	○		○	○
青森県	暦年	延数							○			○
岩手県	暦年	延数							○			
宮城県	暦年	延数		○	○				○			
秋田県	暦年	延数							○			○
山形県	年度	延数							○			
福島県	暦年	記載なし							○			
茨城県	暦年	延数			○							○
栃木県	暦年	記載なし					○		○			
群馬県	暦年	記載なし										
埼玉県	暦年	記載なし										
千葉県	暦年	延数					○	○	○			○
東京都	暦年	延数										
神奈川県	暦年	延数										
新潟県	暦年	記載なし						○	○			
富山県	暦年	延数							○			
石川県	暦年	延数							○			△
福井県	暦年	延数										
山梨県	暦年	実/延数						○	○			△
長野県	暦年	延数					一部	○	○			○
岐阜県	暦年	延数							○			△
静岡県	年度	延数										
愛知県	暦年	延数										
三重県	暦年	延数										
滋賀県	暦年	延数						○	○			○
京都府	暦年	記載なし	○	○	○		○	○	○			
大阪府	暦年	延数	○	○	○				○			
兵庫県	年度	延数	○	○	○							
奈良県	暦年	延数										
和歌山県	暦年	記載なし	○	○	○	一部			○			
鳥取県	暦年	延数			○		○		○			○
島根県	暦年	延数										
岡山県	暦年	延数										
広島県	暦年	延数										
山口県	暦年	記載なし							○			○
徳島県	暦年	延数										
香川県	暦年	延数										
愛媛県	暦年	延数			○							
高知県	暦年	延数										
福岡県	暦年	記載なし										
佐賀県	暦年	記載なし							○			○
長崎県	暦年	延数							○			
熊本県	暦年	延数							○			○
大分県	暦年	延数							○			
宮崎県	暦年	記載なし							○			△
鹿児島県	暦年	延数						○	○			○
沖縄県	年度	延数										

表 7 市町村別観光統計公表データ整備状況①

温泉地名	市町村	暦年 年度	調査基準	実数/延数	観光入込客数		月別(○)/四季別(△)入込客数		都道府県内/県外入込客数		観光地点分類別入込客数		利用交通機関別入込客数	
					観光地点	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村
箱根温泉郷	神奈川県箱根町	暦年	独自基準	延数	一部	○	一部	○						
熱海温泉郷	静岡県熱海市	年度	独自基準	延数	一部	○	一部	○						
定山渓	札幌市南区	年度	日本観光振興協会全国観光統計基準	記載なし	一部	○	一部	○		○				○
鬼怒川/日光湯元・中禅寺	栃木県日光市	暦年		記載なし	○	○	○	○						
伊東	静岡県伊東市	年度		記載なし	○	○	○	○						
有馬	神戸市北区	暦年	観光庁共通基準	記載なし	一部	○	○	○						
別府温泉郷	大分県別府市	暦年	観光庁共通基準	延数	一部	○	△	○						
奥飛騨温泉郷/飛騨高山	岐阜県高山市	暦年		記載なし	一部	○	○	○						
山代・山中/片山津	石川県加賀市	暦年		記載なし	一部	○	○	○		一部				
草津	群馬県草津町	暦年/年度		記載なし	○	○	○	○						
湯の川	北海道函館市	年度		記載なし	○	○	○	○			○			○
伊香珠	群馬県渋川市	暦年		記載なし	記載なし	一部	○	○						
松原温泉郷	仙台市太白区	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○						
那須温泉郷	栃木県那須町	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○						
登別	北海道登別市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
白浜	和歌山県白浜町	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○						
鳥羽温泉郷	三重県鳥羽市	暦年	日本観光振興協会全国観光統計基準	記載なし	○	○	○	○						
湯後/奥湯後	愛媛県松山市	暦年/年度		記載なし	一部	○	○	○			○			
下白	岐阜県下呂市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
阿波湖	北海道釧路市	年度		独自基準	記載なし	○	○	△			○			
塩原温泉郷	栃木県那須塩原市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○						
浜島	三重県志摩市	暦年		記載なし	延数	○	○	○						
石和・春日屋	山梨県笛吹市	暦年												
城崎	兵庫県豊岡市	暦年												
水上温泉郷	群馬県みなかみ町	年度												
修善寺・土肥	静岡県伊豆市	年度	記載なし	記載なし	一部	○	○	○						
乳頭温泉郷/八幡平温泉郷	秋田県仙北市	暦年		記載なし	一部	○	○	○						
和歌	石川県七尾市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○		一部				
箱山寺	浜松市西区	年度		記載なし	記載なし	一部	○	○						
湯野浜	山形県鶴岡市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
河口湖	山梨県富士河口湖町	暦年		記載なし	実数	一部	○	○						
東伊豆町温泉郷	静岡県東伊豆町	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
飯坂/穴原/土湯	福島県福島市	暦年		記載なし	延数	○	○	△			○			
花巻温泉郷	岩手県花巻市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
越後湯沢	新潟県湯沢町	年度		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
洞爺湖	北海道洞爺湖町	年度		記載なし	延数	○	○	○			○			
玉湯	鳥取県松江市	暦年		記載なし	延数	○	○	○			○			
あわら	福井県あわら市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			○
東山/戸ノ牧	福島県津波若松市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○		一部				
いわき温泉本	福島県いわき市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
霧島温泉郷	鹿児島県霧島市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
由布院	大分県由布市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
雄琴	滋賀県大津市	暦年		記載なし	記載なし	一部	○	○						
万葉	群馬県嬬恋村	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
伊豆長岡・古奈	静岡県伊豆の国市	年度		記載なし	記載なし	一部	○	○						
月岡	新潟県新潟市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
原草峠	北海道上山町	年度		記載なし	延数	一部	○	○						
鳴子温泉郷	新潟県上越市	暦年		記載なし	延数	一部	○	○						
湯河原	神奈川県湯河原町	暦年		記載なし	記載なし	一部	○	○						
湯田	山口県山口市	年度		記載なし	実数	一部	○	○			○			
那智湯浦	和歌山県那智湯浦町	年度		記載なし	記載なし	一部	○	○						
瑠璃	群馬県瑠璃市	暦年		記載なし	記載なし	一部	○	○			○			
上野防	長野県諏訪市	年度		記載なし	延数	○	○	○						
長島	三重県桑名市	暦年		記載なし	延数	○	○	○						
養料	長野県茅野市	暦年		記載なし	延数	○	○	○			○			
雄野	佐賀県雄野市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
湯田中湯温泉郷	長野県山ノ内町	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
戸倉・上山田	長野県千曲市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○						
磐梯熱海	福島県郡山市	暦年	観光庁共通基準	延数	○	○	○	○						
阿字	鳥取県米子市	暦年		記載なし	延数/実数	○	○	○			○			
雲仙・小浜	長崎県雲仙市	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
ウトロ	北海道斜里町	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
湯波	新潟県村上市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
洲本	兵庫県洲本市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
蔵王	山形県山形市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○			○			
丸子温泉郷	長野県上田市	年度		記載なし	記載なし	一部	○	○			一部			
鹿野島	鹿児島県鹿野島市	暦年		記載なし	記載なし	一部	○	○			○			○
養津	石川県小松市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
宇奈月	富山県黒部市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
三朝	鳥取県三朝町	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○						
天童	山形県天童市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
十湯川	北海道音更町	年度		記載なし	延数	○	○	○						
大町温泉郷	長野県大町市	暦年		記載なし	延数	○	○	○						
柳屋	三重県津市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
穂高温泉郷	長野県安曇野市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
泉神	長野県阿智村	暦年		記載なし	記載なし	○	○	○						
上山・寒山	山形県上市市	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
黒川	熊本県小国町	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
遠刈田	宮城県蔵王町	暦年		記載なし	記載なし	一部	○	○			○			
約力	群馬県中之条町	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
湯の山	三重県湯野町	年度		記載なし	記載なし	○	○	○						
阿蘇内牧	熊本県阿蘇市	暦年		記載なし	延数	○	○	○						
北湯沢	北海道伊達市	暦年		記載なし	延数	○	○	○						
岳	福島県二本松市	暦年		記載なし	延数	○	○	○						
甲府・湯村	山梨県甲府市	暦年	観光庁共通基準	延数	○	○	○	○						



表 8 市町村別観光統計公表データ整備状況②

市町村	日帰り客数		月別(○)/四季別(△)日帰り客数		宿泊客数		月別(○)/四季別(△)宿泊客数		利用宿泊施設別宿泊客数	外国人観光入込客数		外国人宿泊客数	
	観光地点	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村
神奈川県箱根町		○		○		○		○		○			○
静岡県熱海市		○		○		○		○		○			○
札幌市南区		○		○		○		○		○			○
栃木県日光市		○		○		○		○		○			○
静岡県伊東市		○		○		○		○		○			○
神戸市北区		○		○		○		○		○			○
大分県別府市		○		△		○		△		○			○
岐阜県高山市		○		○		○		○		○			○
石川県加賀市	一部○	○	○	○	一部○	○	一部○	○		一部	○		○
群馬県草津町		○		○		○		○		○			○
北海道函館市		○		○		○		○		○			○
群馬県渋川市		○		○		○		○		○			○
仙台市太白区		○		○		○		○		○			○
栃木県那須町		○		○		○		○		○			○
北海道登別市		○		○		○		○		○			○
和歌山県白浜町		○		○		○		○		○			○
三重県鳥羽市		○		○		○		○		○			○
愛媛県松山市		○		○		○		○		○			○
岐阜県下呂市		○		○	一部	○	一部○	○		○		一部	○
北海道釧路市		○		○		○		△		○			○
栃木県那須塩原市		○		○		○		○		○			○
三重県志摩市		○		○		○		○		○			○
山梨県笛吹市		○		○		○		○		○			○
兵庫県豊岡市		○		○		○		○		○			○
群馬県みなかみ町		○		○		○		○		○			○
静岡県伊豆市		○		○		○		○		○			○
秋田県仙北市		○		○		○		○		○			○
石川県七尾市	一部	○	一部○	○	一部	○	一部○	○		○			○
浜松市西区		○		○		○		○		○			○
山形県鶴岡市		○		○		○		○		○			○
山梨県富士河口湖町		○		○		○		○		○			○
静岡県東伊豆町		○		○		○		○		○			○
福島県福島市		○		○		○		○		○			○
岩手県花巻市		○		○		○		○		○			○
新潟県湯沢町		○		○		○		○		○			○
北海道洞爺湖町		○		○		○		○		○			○
鳥根県松江市		○		○		○		○		○			○
福井県あわら市	○	○		○	○	○	一部○	○		○		一部	○
福島県会津若松市		○		○		○		○		○			○
福島県いわき市		○		○		○		○		○			○
鹿児島県霧島市		○		○		○		○		○			○
大分県由布市		○		○		○		○		○			○
滋賀県大津市		○		○		○		○		○			○
群馬県嬬恋村		○		○		○		○		○			○
静岡県伊豆の国市	一部	○		○		○		○		○			○
新潟県新発田市		○		○		○		○		○			○
北海道上川町		○		○		○		○		○			○
宮城県大崎市		○		○	一部	○		○		○			○
神奈川県湯河原町		○		○		○		○		○			○
山口県山口市		○		○		○		○		○			○
和歌山県那智勝浦町		○		○		○		○		○			○
鹿児島県指宿市		○		○		○		○		○			○
長野県諏訪市		○		○		○		○		○			○
三重県桑名市		○		○		○		○		○			○
長野県茅野市	○	○		○		○		○		○			○
佐賀県嬉野市		○		○		○		○		○			○
長野県山ノ内町		○		○		○		○		○			○
長野県千曲市		○		○		○		○		○			○
福島県郡山市		○		○		○		○		○			○
鳥取県米子市		○		○		○		○		○			○
長崎県雲仙市		○		○		○		○		○			○
北海道斜里町		○		○		○		○		○			○
新潟県村上市		○		○		○		○		○			○
兵庫県洲本市		○		○		○		○		○			○
山形県山形市		○		○		○		○		○			○
長野県上田市		○		○		○		○		○			○
鹿児島県鹿児島市		○		○		○		○		○			○
石川県小松市		○		○		○		○		○			○
富山県黒部市		○		○	一部	○		○		○			○
鳥取県三朝町		○		○		○		○		○			○
山形県天童市		○		○		○		○		○			○
北海道音更町		○		○		○		○		○			○
長野県大町市		○		○		○		○		○			○
三重県津市		○		○		○		○		○			○
長野県安曇野市		○		○		○		○		○			○
長野県阿智村		○		○		○		○		○			○
山形県上山市		○		○		○		○		○			○
熊本県南小国町		○		○		○		○		○			○
宮城県蔵王町		○		○		○		○		○			○
群馬県中之条町		○		○		○		○		○			○
三重県菟野町		○		○		○		○		○			○
熊本県阿蘇市		○		○		○		○		○			○
北海道伊達市		○		○		○		○		○			○
福島県二本松市		○		○		○		○		○			○
山梨県甲府市		○		○		○		○		○			○

表 9 市町村別観光統計公表データ整備状況③

市町村	月別(○)/四季別(△)外国人宿泊客数		宿泊施設数(収容人数記載は◎)		観光消費額		月別(○)/四季別(△)観光消費額		観光予算・決算	コンベンション開催状況
	観光地点	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村	観光地点	市町村		
神奈川県箱根町		○		◎	一部	○	一部○	○		
静岡県熱海市				◎						
札幌市南区				◎					○	○
栃木県日光市		○								
静岡県伊東市										
神戸市北区						○				
大分県別府市				○		○				
岐阜県高山市		○		◎				○		
石川県加賀市										
群馬県草津町										
北海道函館市										
群馬県渋川市										
仙台市太白区				◎						○
栃木県那須町										
北海道登別市				◎						
和歌山県白浜町										
三重県鳥羽市				◎		○				
愛媛県松山市										
岐阜県下呂市	一部○									
北海道釧路市										
栃木県那須塩原市				○						
三重県志摩市		○		○						
山梨県笛吹市										
兵庫県豊岡市										
群馬県みなかみ町										
静岡県伊豆市										
秋田県仙北市										
石川県七尾市						一部				
浜松市西区										
山形県鶴岡市										
山梨県富士河口湖町		○								
静岡県東伊豆町				○						
福島県福島市										
岩手県花巻市										
新潟県湯沢町										
北海道洞爺湖町										
島根県松江市		○						○	○	○
福井県あわら市										
福島県会津若松市										
福島県いわき市										
鹿児島県霧島市				◎(客室数のみ)						
大分県由布市		○				○				
滋賀県大津市				◎						
群馬県嬬恋村										
静岡県伊豆の国市										
新潟県新発田市										
北海道上川町										
宮城県大崎市										
神奈川県湯河原町				○						
山口県山口市										
和歌山県那智勝浦町										
鹿児島県指宿市				◎						
長野県諏訪市										
三重県桑名市										
長野県茅野市						○				
佐賀県嬉野市						○				
長野県山ノ内町					○	○				
長野県千曲市										
福島県郡山市										
鳥取県米子市										
長崎県雲仙市				◎		○				
北海道斜里町										
新潟県村上市										
兵庫県洲本市										
山形県山形市										
長野県上田市										
鹿児島県鹿児島市				◎				○	○	大会も含む
石川県小松市										
富山県黒部市										
鳥取県三朝町				○						
山形県天童市				一部◎						
北海道音更町										
長野県大町市						○				
三重県津市										
長野県安曇野市										
長野県阿智村										
山形県上山市										
熊本県南小国町										
宮城県蔵王町										
群馬県中之条町										
三重県菟野町										
熊本県阿蘇市										
北海道伊達市										
福島県二本松市										
山梨県甲府市										